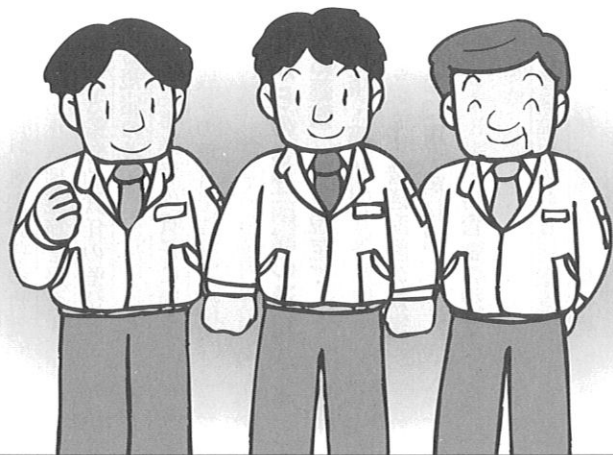


民間の知恵



別品目の廃棄物を 1度で回収する

武松商事(株)
(神奈川県横浜市)



異なる品目の廃棄物を、効率よく低コストで回収できるというパッカー車が登場した。横浜市を拠点に展開する武松商事(株)が新明和工業(株)とともに完成、導入したもので、コンテナとパワーゲートを搭載している。武松商事では昨年、市内に食品残さの飼料化施設をオープン。賞味期限切れ食品、野菜くず、調理くずなどの回収依頼が増加しているという。新型パッカー車は、前部に食品系生ごみを最大6カートまで搭載でき、後部には可燃ごみを積み込めるようになっている。従来の車両と比べて用途や範囲が飛躍的に向上したこの車両で、低コストかつ迅速な回収を図る。



NEWS

レジ袋削減で新方針 54事業所552店舗で

わかやまノーレジ袋推進協議会

和歌山県と県内自治体、事業者、市民団体が構成される「わかやまノーレジ袋推進協議会」は2月から、無料配布中止やポイント付与などさまざまな手法でレジ袋削減に取り組む。昨年10月まで無料配布中止を進めてきたが、選択肢を増やすことで数多くの事業者に参加してもらい、取り組みの拡大を図る。

コンビニエンスストアやホームセンター、ドラッグストア、家電量販店、スーパーマーケットなどが参加。2月からの新規参画事業者は21事業者337店舗で、総数54事業者552店舗となった。無料配布中止を行うのは17事業所82店舗。レジ袋辞退率の目標は、無料配布中止店舗で80%、それ以外の店舗で20%となっている。無料配布中止の収益金は、それぞれの事業者から地域や消費者に還元する。

無料配布以外の取り組みでは、ポイント付与をはじめ、割引、声かけ、レジ袋の軽量化、マイバッグ等持参運動、ポスター・チラシの掲示などが行われている。

6事業所を認定 資源循環優良モデル

愛媛県

愛媛県は、2011年度の資源循環優良モデルを決定した。リサイクル製品や3Rに積極的に取り組んでいる事業所や店舗を認定し、その存在を県民に周知するとともに、他の事業者へ波及を図っていくための制度で、今年度は12件を認定。2月2日に認定証交付式を行った。

優良リサイクル製品には、その他のガラスを原料にしたリサイクルガラス砂や、みかん加工残さを利用したエコフィードなど5点、優良循環事業所には、バッテリー再生事業への参入など3R活動に取り組む北宇和興産(株)、特産品のレモンをエコフィードに利用したブランド豚の生産を行う松浦農場など6件が認定された。優良エコショップには、ヒノキの伐採した枝を利用した積み木の製造・販売を行う積み木作家まゆが認定を受けた。

認定期間は2年。認定製品や事業所にシンボルマークの使用が認められるほか、県が紹介パンフレットを作成・配布、ホームページでも広く周知する。

レアメタル再生で連携 小型家電回収促進へ

茨城県つくば市

つくば市と(独)物質・材料研究機構(以下、物材機構)は、小型家電製品の回収と金属再生事業について協力を確立し、2月3日に基本協定を締結した。小型家電製品の回収や選別、金属再生の促進に関して技術的助言などのアドバイスを、市民啓発活動への助言、専門家の派遣など、連携して事業を促進する。

市民から集めた小型家電を、物材機構の技術を用いた装置で破解、粗選別して民間企業に販売する。自治体が回収したレアメタルを、国が行っている補助事業とは別に、民間企業との技術連携を図りながら金属再生の効果的な体制を確立する。物材機構の技術により、日本で始めて携帯電話に含まれるタンゲステンの回収が可能となった。

つくば市は昨年7月から、市役所とクリーンセンターの3カ所で、小型家電5品目(携帯電話、デジタルカメラ、ビデオカメラ、デジタルオーディオプレーヤー)の回収を開始。今年1月からは回収ボックスの設置場所を9カ所に増やしている。